

※教室講座

海の民・山の民の交流路

大縄文街道の謎

“八ヶ岳縄文圏”と“相模野&多摩文化圏”を結ぶ道

講師 古街道研究家 宮田 太郎



関東を代表する縄文時代の一大文化圏「八ヶ岳山麓文化圏」と数千年に渡り交流し、黒曜石やヒスイを運び、土器の製作で協力し合い、親戚関係にあったことが見えて来た「相模野・多摩文化圏」を結んだ大交流街道の謎についてお話しします。

豊富な遺跡データから見えて来た一本の大街道はどこにあったのか。なぜ相模野や多摩丘陵、武蔵野の人々と八ヶ岳人が交流を続けたのか、私たちの先祖にもつながる縄文時代人の心と暮らし、移動の「道」を現地調査データと合わせながら推測していきます。（講師記）

■日 時 2017年 12月 2日 1回
土曜 15:30 ~ 17:30

■受講料 会員 3,294円 一般 3,942円（資料代込）

※入会金は5,400円、3年間有効。70歳以上は入会金無料（要証明書）。

〈講師紹介〉 みやた・たろう 古街道研究家、古代遺跡研究家 総務省地域力創造アドバイザー、歴史古街道团团長、(株)歴史シアター・ジャパン代表。古街道遺跡地帯である多摩丘陵を手始めに関東・全国・南西諸島、アジア諸国を結ぶ道、古代から中世の未知の遺跡を独自の手法で実地踏査。「旅」や「現地探索ウォーク」の形で紹介。鎌倉街道や中世の山城、古代遺跡など数多くの遺跡を発見。現在NHKラジオ深夜便「いにしへの道を訪ねて」レギュラー出演中。「すべての文化と遺跡は“道”をたどって誕生した」が信念。考古学的手法を加えた現地踏査手法『古街道学』を提唱。日本フットパス協会理事として遺跡の保護と活用、「道と遺跡と歴史ストーリー」を活かした地域活性で活躍中。

*講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合は、講座を延期または中止する場合があります。
*手続きの際にご記入いただく皆様の個人情報は受講連絡やお知らせ・講座企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター | 湘
朝日JTB・交流文化塾 | 南

〒251-0052 藤沢市藤沢438-1 ルミネ藤沢店 9F

電話 0466-24-2255 URL: <http://www.asahiculture.jp/shonan>